

# Intercity Meeting

2021-2022

国際ロータリー第 2760 地区 西三河分区  
インターシティー・ミーティング

刈谷・安城・西尾・西尾一色・高浜・知立・西尾 KIRARA・三河安城・碧南



SERVE TO CHANGE LIVES

## 記録書

2021-2022年 地区活動方針

# チェンジロータリー 新時代への成長に！

— コロナゼロ・カーボンゼロ支援 —  
人類の危機を救うロータリーになろう！

2022年 2月19日(土)

YouTube ライブ配信 (碧南商工会議所内)

# Intercity Meeting

2021-2022

◆ 目 次

INDEX

第一部 式典	ガバナー補佐挨拶 …………… 3
	ホストクラブ会長挨拶…………… 4
	来賓挨拶 県知事 …………… 5
	来賓挨拶 市長 …………… 6
	ガバナー挨拶 …………… 7
	IM 実行委員長挨拶 …………… 8
第二部 講演会	プログラム…………… 9
	講師紹介…………… 9
	講演会『西三河の武士』資料 …… 10・11
資料集	写真 ロータリー奉仕デーの様子 …… 12
	開会前・会場の様子…………… 14
	第一部の様子 …………… 15
	第二部の様子 …………… 16
	ガバナー補佐杯及びIM 実行委員会組織表… 18
	ご来賓・参加者数…………… 19
	収支決算書…………… 19

## ◆ ガバナー補佐挨拶

---



西三河分区ガバナー補佐

伊藤 正 幸

西三河分区9ロータリークラブの会員の皆様、本日はIMに全員登録をいただき、ご参加をありがとうございます。世界に蔓延したコロナ禍で社会生活が一変し、各クラブにおかれましても新たな活動を模索し、的確な分析と細心の注意、そして毅然とした決断によりロータリー活動を続けていらっしやいました。

そして、一昨年の稲垣ガバナー補佐、昨年の大見ガバナー補佐と困難な対応が迫られるなか西三河分区としてIM開催のバトンをつないでいただきました。

今回のIMも年明けから始まりましたオミクロン株の急拡大にしっかりと対応し、感染対策を万全にしてそのバトンを繋げてゆきたいと存じます。

地区方針「チェンジロータリー新時代への成長に コロナゼロカーボンゼロ支援」そしてシェカールメーターRI会長のスローガン「もっと行動しもっと成長しよう」についてガバナー補佐として分区クラブの皆様にお伝えすべきポイントを中心に準備をさせていただいております。

会員の皆様には今後のロータリー活動の一助にいただければ幸いです。

## ◆ ホストクラブ会長挨拶

---



碧南ロータリークラブ 会長

新 美 雅 浩

本日は、西三河分区 IM にご来賓の皆様を始め多くの会員の皆様にご出席をいただき、誠に有り難うございます。ホストクラブを代表し心よりお礼とご歓迎を申し上げます。

さて一昨年より人が密に集まって懇親や友情を深めることがかなわない日が続き、各クラブともクラブ奉仕活動には大変な苦勞をされてみえることと存じます。一方で昨年の IM では安城ロータリークラブ様がコロナ禍にもかかわらず、リモートを駆使し知恵を絞られた開催を実現され、西三河分区ロータリアンの結束を改めて確認することが出来ました。

本年、碧南ロータリークラブは西三河分区 IM のホストクラブとしてガバナの方針にも掲げられた「コロナゼロ・カーボンゼロ」を念頭に感染対策には万全な配慮をしつつ、実施して参ります。現在でもコロナ変異株の感染拡大が懸念され、様々な制約がある中ではございますが、全員登録のご配慮をいただいた西三河分区ロータリアンの皆様にとりまして有意義な会合となりますよう、またロータリーの新しい時代に向けた更なる成長の機会となりますよう、会員一丸となって精一杯努めて参りますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## ◆ 来賓挨拶

---



愛知県知事

大村 秀章

国際ロータリー第 2760 地区 西三河分区インターシティー・ミーティングの開催を、心からお祝い申し上げます。伊藤ガバナー補佐、平岩実行委員長始め会員の皆様方におかれましては、長年にわたり、地域に密着した幅広い社会奉仕活動にご尽力いただき、感謝を申し上げるとともに、深く敬意を表します。

愛知県は今年、1872(明治5)年に現在の愛知県が誕生してから、150周年という記念すべき節目の年を迎えました。この愛知が、我が国屈指の産業力を備えた大都市圏として大きく成長できたのも、先人たちのたゆまぬ努力の賜物です。県政150周年は、愛知の歩みを振り返り、郷土への愛着や誇りを改めてお持ちいただく貴重な機会です。この機会に、県民の皆様が地域の文化・歴史・風土・産業等から愛知の魅力を再発見し、愛知に住んでよかった、そして、将来も愛知に住み続け、より良い愛知をつくっていきたいと思っていただけるよう、オール愛知で県政150周年を盛り上げてまいります。引き続き、皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後に、西三河分区の益々のご発展と、会員の皆様方のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## ◆ 来賓挨拶

---



碧南市長  
禰 宜田 政信

西三河分区のインターシティ・ミーティング開催を心よりお慶び申し上げます。日頃より、ロータリークラブの皆様は、地域に根ざした積極的な社会活動を展開され、常にまちの先導的役割を果たしておられ、本市に対しましても学校や公園の整備に合わせ、毎年のように多大な緑化樹木等を、また近年では、新型コロナウイルスの影響を受けた市民病院へのご寄贈を頂戴するなど、様々なご支援を賜り心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、現在、碧南市では、大ブレイクしているものがあります。

1つ目は、ふるさと納税です。事業開始以来、地道に地場産品の魅力を再発見、発掘し続けた結果、現在では約900の返礼品を揃えており、昨年度の寄附金額は29億7千万円で県内1位となりました。今年度も昨年度を超える寄附を頂戴しております。

2つ目は、碧南スケートボードパークです。24時間無料で利用できる西三河初の公共施設です。オリンピック効果もあり、土日だけでなく、平日夜間も多くの方が利用しています。

今後も、地域資源を最大限活用し、交流人口の増加に向け、魅力あるまちづくりを進めてまいります。

結びにあたり、西三河分区の今後の更なる発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りして、お祝いの言葉といたします。

## ◆ ガバナー挨拶

---



ガバナー  
沓名 俊 裕

国際ロータリー第 2760 地区西三河分区 I Mが多くの皆様に参加いただき開催されることを心よりお慶び申し上げます。またホストクラブである碧南ロータリークラブの皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

本年度 R I テーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」地区方針は「チェンジロータリー 新時代への成長に！～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～人類の危機を救うロータリーになろう！」です。

昨年引き続き今年度も様々な行事が新型コロナ感染状況に左右されました。しかしできないのではなく、できることをやっていく必要があります。時代は川の流れです。刻一刻と変化し、いつまでも同じところに留まることはできません。ロータリークラブも同じです。進化するためにチェンジし新しい時代に対応していく力が必要です。ロータリークラブはその力が十分あります。

そして、コロナゼロ・カーボンゼロ支援をお願いしています。1クラブが少しの支援でも集まれば大きな支援になります。それはきっと人類の危機を救うことにつながります。ロータリーゼロバッジを着用しさらにこの支援の輪が広がることを願っています。

伊藤ガバナー補佐のリーダーシップにより、地域社会への奉仕活動をしっかりとアピールしていけば、ロータリーの存在感がさらに高くなります。

この I Mで西三河分区の皆様が親睦を深め、貴分区が益々発展していくことを祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

## ◆ IM 実行委員長挨拶

---



IM 実行委員長

平岩 統一郎

国際ロータリー第 2760 地区西三河分区の 2021～2022 年度 IM( インターシティ・ミーティング ) 開催に当たり、分区内全員の登録を賜りご支援ご協力に衷心より感謝申し上げます。本日は感染防止の企画の中ご来賓のほか、沓名ガバナーを始め特別出席者と各クラブから多数の皆様をお迎えして盛大に開催できます事を厚くお礼申し上げます。

シェカール・メータ RI 会長の「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」、沓名俊裕ガバナーの「チェンジロータリー 新時代の成長に！」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～、に対して冒頭報告のように「ふうせんかずら」の種子を市民へ配布いたしました。

実行委員会で検討の結果、東京大学史料編纂所教授の本郷和人氏に「家康と西三河の武士たち」と題して、この地域と関係深いご講演をいただくこととなりました。

皆様には有意義な一日となりますようご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

## ◆ プログラム

## PROGRAM

第一部  
式典

14:20	オープニング		
	点鐘	ガバナー補佐	伊藤 正幸
	開会のことば	IM 実行委員長	平岩統一郎
	国歌「君が代」斉唱		
	ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱		
	ガバナー補佐挨拶	ガバナー補佐	伊藤 正幸
	ホストクラブ会長挨拶	碧南RC会長	新美 雅浩
	来賓・特別出席者紹介	西三河分区幹事	黒田 泰弘
	参加クラブ紹介		
	来賓挨拶	愛知県知事	大村 秀章 様
		碧南市長	禰宜田政信 様
	ガバナー挨拶	ガバナー	沓名 俊裕
	閉会のことば	副会長	森田 雅也

第二部  
講演会

15:00	講演会 開会		
	講師紹介	IM 副実行委員長	長田 和徳
	講演「徳川家康と西三河の武士たち」	講師	本郷 和人 氏
	次年度役員紹介	ガバナー補佐	伊藤 正幸
	お礼のことば並びに閉会のことば	IM 実行委員長	平岩統一郎
16:45	点鐘	ガバナー補佐	伊藤 正幸

講師  
紹介

## 本郷 和人 (ほんごうかずと)

東京大学史料編纂所 教授

1960年、東京の下町生まれ。東京大学・同大学院修了。文学博士。

中世政治史、中世古文学、中世寺院史を専門とする。

大河ドラマ『平清盛』の時代考証を務める。

- 著書
- 『謎とき平清盛』(文春新書)、
  - 『肉食と草食の日本史』
  - 『天皇はなぜ万世一系なのか』(文春新書)
  - 『武士から王へ～お上の物語』(ちくま新書)
  - 『中世朝廷訴訟の研究』 など



## ◆ 講演会

LECTURE

# 徳川家康と 西三河の武士たち

講師 本郷和人（ほんごうかずと）



## ◆ 西三河とは…

西三河（にしみかわ）とは、愛知県の中部を指す。

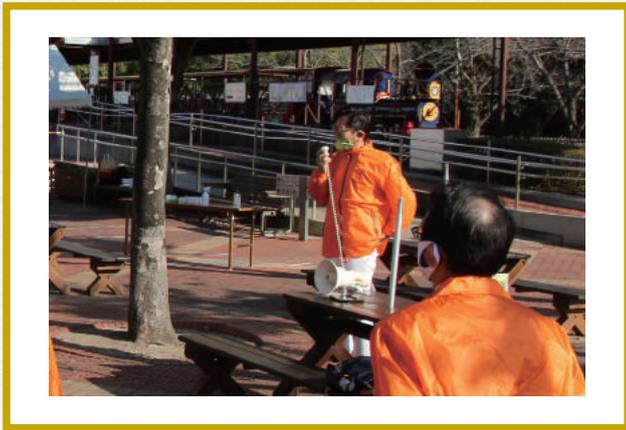
現在の愛知県政においては9市（豊田市、岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市）と1町（額田郡幸田町）を範囲とする。

原義は令制国の三河国の西半分で、矢作川流域の碧海郡、幡豆郡、額田郡、加茂郡から成る地方である。

## 資料

- ◆ 『徳川諸家系譜』に所収の『徳川幕府家譜』によると、松平信光から親忠・長親・信忠までの4代、安祥城に御在城のときに奉仕した家臣を安祥譜代という。その後、清康が山中・岡崎を攻略した以降の家臣を山中・岡崎譜代という。
- ◆ 『柳営秘鑑』では、安祥譜代、岡崎譜代、駿河譜代と区分
- ◆ 『岡崎市史』は『武徳大成記』（徳川吉宗曰く、虚飾多し）の清康の項目にある岩津譜第（松平親氏・泰親・信光の3代に仕えた者）・安城譜第（親忠・長親に仕えた者）・岡崎譜第（清康に仕えた者）とする。なお、岩津は現在の岡崎市岩津町。
- ◆ 『柳営秘鑑』にいう  
安祥譜代 酒井左衛門尉、大久保、本多、阿部、石川、青山、植村、右七家  
岡崎譜代 井伊、榊原、鳥居、戸田、永井、水野、内藤、安藤、久世、大須賀、井上、阿部、秋本、渡邊、伊丹、屋代、此十六家
- ◆ 碧南出身の武士  
永井直勝（1563～1626）永井荷風や三島由紀夫の先祖とも  
永禄6年（1563年）、三河国碧海郡大浜郷（現在の碧南市音羽町）に生まれる。徳川家康の嫡男・信康に仕えたが、天正7年（1579年）に信康が自刃すると隠棲した。天正8年（1580年）、家康に召し出されて再び家臣となる。1584年の小牧・長久手の戦いでは池田恒興を討ち取る。1594年、池田輝政が督姫を娶った際、輝政の求めに応じ、恒興を討ち取った際の事を語った。直勝の知行が5000石と知った輝政は、父を討ち取った功績の価値が5000石しかないのかと嘆息した。  
関ヶ原の戦いの後に近江国に2000石を加増され、7000石を領する。  
大坂の陣にも参戦して戦功を上げ、元和2年（1616年）上野小幡藩1万7000石に加増。翌元和3年（1617年）には常陸笠間藩3万2000石を与えられ、後に2万石を加増される。元和8年（1622年）、笠間を浅野長重に譲って、代わりに下総古河において7万2000石を与えられた。
- ◆ 家康は1542年生まれ（ユリウス暦だと1543年）  
長男 信康 1559 筑山殿 1579没  
長女 亀姫 1560 筑山殿 奥平信昌妻  
次女 督姫 1565 西郡局 北条氏直妻、のち池田輝政妻  
次男 秀康 1574 お万の方 越前宰相  
三男 秀忠 1579 西郷局
- ◆ 鶴殿家の本家は上之郷鶴殿家 現在の蒲郡 ぎりぎり東三河 大名家としては残らず
- ◆ 酒井忠次のこと
- ◆ 徳川四天王のこと
- ◆ 徳川家に於ける「政治」（当時の言葉でいう「仕置き」）

## ◆ ローターリー奉仕デーの様子



伊藤正幸ガバナー補佐の挨拶



新美雅浩碧南ロータリークラブ会長の挨拶



鈴木隆昭高浜ロータリークラブ会長の挨拶





◆ 開会前・会場の様子



## ◆ 第一部の様子



愛知県知事 大村秀章様



碧南市市長 禰宜田政信様



伊藤正幸ガバナー補佐



新美雅浩碧南 RC 会長



沓名俊裕ガバナー



平岩統一郎 IM 実行委員長



永坂誠司 IM 実行委員会副幹事

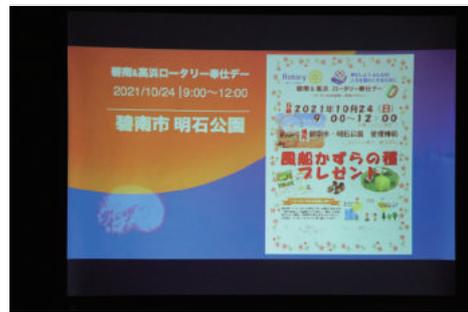


司会 山口日出子君 岡島晋一君





閉会のことば  
森田雅也碧南 RC 副会長



## ◆ 第二部の様子



講師 東京大学史料編纂所 教授 本郷和人氏



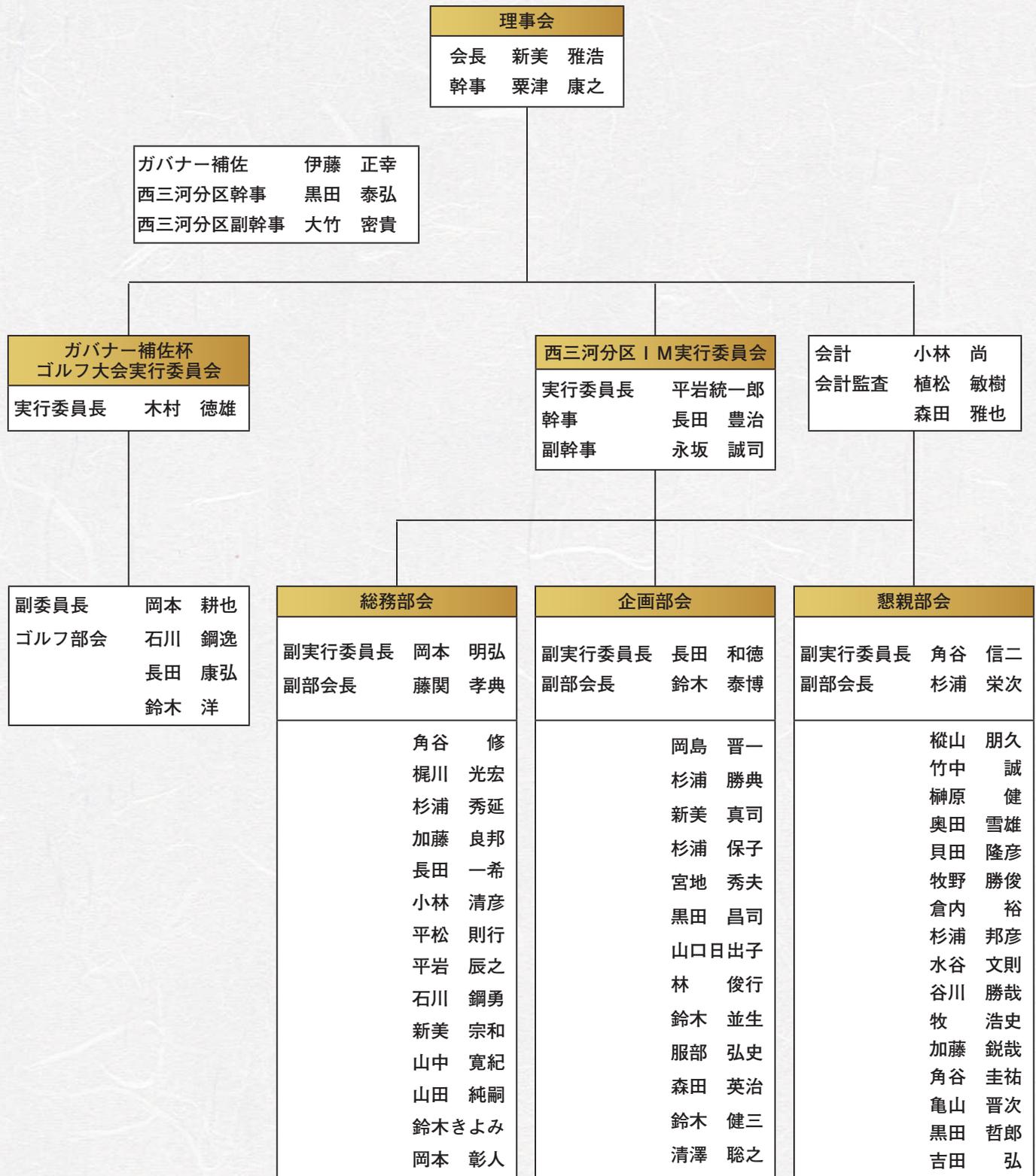
次年度 分区幹事 西尾一色 RC 神谷 林君



次年度 ホストクラブ 西尾一色 RC 田中三千雄会長



## ◆ ガバナー補佐杯及び IM 実行委員会組織表



## ◆ ご来賓

愛知県知事 大村 秀章 碧南市長 禰宜田 政信

## 特別出席者

RI 第 2760 地区 ガバナー	沓名俊裕 (安城)
RI 第 2760 地区 地区幹事	細井英治 (安城)
RI 第 2760 地区 パストガバナー	田中正規 (西尾)
RI 第 2760 地区 元地区幹事	内藤耕造 (刈谷)
西三河分区 次年度ガバナー補佐	近藤清隆 (西尾一色)
次年度 IM ホストクラブ会長	田中三千雄 (西尾一色)
西三河分区 次年度分区幹事	神谷 林 (西尾一色)

## 米山奨学生

刈 谷	劉 百恵 (中国)
安 城	アイカ・マニックサリ (インドネシア)
	リー・カーマン (マレーシア)
知 立	何 静 (中国)
西尾 KIRARA	汪 懌来 (中国)
三河安城	恩克郝日宝 (中国)

## ◆ 参加者数

クラブ名	会員名	会員数
刈 谷	野村紀代彦	100
安 城	石川 義典	54
西 尾	岡田 光祥	80
西尾一色	田中三千雄	20
高 浜	鈴木 隆昭	30
知 立	大辻 明	56
西尾 KIRARA	米津 長治	56
三河安城	安藤 毅	64
碧 南	新美 雅浩	63
合 計		523 名

## ◆ IM 収支決算

## ◆ 収支の部

項目	金額	備考
登録料	2,615,000	
地区補助	250,000	
合 計	2,865,000	

## ◆ 支出の部

項目	金額	備考
総務部会費	2,291,318	
印刷・事務費	539,550	
会場費	1,189,702	中継一式、看板等
記念品	478,392	
奉仕デー費	83,674	
企画部会費	475,652	
講師謝礼	374,320	交通費含む
書籍	101,332	
懇親部会費	98,030	
接待賄費	53,370	コーヒー等賄代
キャンセル料	44,660	余興キャンセル代
合 計	2,865,000	

# *Intercity Meeting*

2021-2022



RI 第 2760 地区 西三河分区 Intercity Meeting (IM)  
ホストクラブ：碧南ロータリークラブ